

地域の実情と課題

本市意識調査によると、市に求める役割として、「男性相談の窓口開設」があげられており、その値は、全体に比べ特に50歳未満の男性に高い傾向がみられた。性別による社会的なプレッシャーがかかりやすい男性の生きにくさに寄り添い、望まない孤独・孤立に陥ることがないよう、相談窓口の充実を図る必要がある。

事業の特徴

1 相談日程の拡充

男性相談は、令和4年度に4回実施したが、令和5年度は毎月1回(年12回)開催し相談の充実を図った。

2 専用回線の確保

令和4年度は、女性生活相談と電話番号をシェアしていたが(開催日別)、専用回線を確保することによって相談者の利便性を図ることが出来た。

事業の効果

1 事業協力者の確保

事業周知に係る広報手段としては、市報を始め市HPや広報紙、ポスター・チラシ、SNS等、関係機関の協力を得て広く行うことが出来た。また、大学などの教育機関や日立市医師会による広報協力には、対象者の反応についてフィードバックがある等、事業に対するサポート体制を強化することが出来た。

目的・目標

○困難を抱えた男性の不安の解消

○問題の解決により、生活や就労に対する意欲の向上

【目標】

- 1 家庭生活や地域生活について悩みや不安を感じる男性の割合 20.0% (R7年度調査予定)
- 2 年間の相談件数 30件 (R5実績:9件)

連携団体

1 (一社)茨城県公認心理師協会 : 人材確保

2 日立市医師会

啓発サポート: 広報協力、広報の感触をフィードバック

3 日立市コミュニティ推進協議会

事業実施に関する広報協力

4 各種団体、各高校・大学

事業実施に関する広報協力

今後の課題

1 新たな広報手段の確保

2 相談環境の充実

男性が相談しやすい環境を整えるため、時間帯や相談ツールの妥当性を協議する。

3 担当部署との連携強化

必要に応じ、相談者がスムーズにサポート機関に繋がることができるように連絡体制を整える。

事業の概要

拡
充

男性電話相談

【拡充事業】

男性を対象とした電話相談。
生活全般にわたる相談を受け悩みに寄り添うだけでなく、ケースによっては相談機関につなぐ等、不安を抱える男性をサポートする。

- 1 日 時 第3日曜日 10時～12時 13時～16時
※ 拡充：実施回数 R4年度 4回 → R5年度 12回
- 2 相談員 1人/日(臨床心理士等の資格を持った男性)
- 3 相談実績 9件 (目標:30件)
- 4 その他 R5年度より男性相談専用の回線による相談を実施した。
(R4年度は、女性生活相談の回線で、相談日を分けて実施した。)

男性電話相談

男性カウンセラーによる電話相談です。
相談は無料(通話料がかかります)。
相談は匿名です。まずは、お気軽にお電話ください。

◆ 第3日曜日 ◆
受付時間：午前10時～12時、午後1時～4時
☎ 050-3575-2849

連携

女性生活相談

女性を対象とした電話相談及び面接相談

- 1 日 時 月～金及び第2・4土曜 9時～17時
- 2 相談員 元教員、スクールカウンセラー等
- 3 場 所 らぽーるひたち(日立市女性センター)
- 4 その他 男性と称する相談者からの相談実績あり

一人で悩まないで相談してみませんか？

女性生活相談

0294-35-2215

受付時間 月～金、第2・第4土曜日
午前9時～午後5時

日立市

カウンセリング相談・電話相談

男性ならではの生きにくさ
に対応した電話
による相談

女性電話相談では対応
しにくい問題に対して、
専門資格を持つ
心理カウンセ
ラーが対面
で対応

男性電話相談
(1日/月)

女性カウンセリング
相談
(2日/月)

性的マイノリティ
電話相談
(1日/月)

性的マイノリティ当事者及び関わる全ての人の困りごと
に対応した電話による相談

【連携先】

日立市医師会、日立市コミュニティ推進協議会、各高校・大学
ほか